基礎から学べる要件定義～ユーザーと開発者をつなぐコミュニケーションツールとしての要件定義のまとめ方【オンラインライブ】（4126018）

要件定義はシステム開発における「実現したい事」をまとめる重要な工程です。そして要諦は「ユーザーと開発者をつなぐコミュニケーションツール」としてとらえ、関係者に伝わり理解しやすく、認識に齟齬を生じないものとすることが重要です。システム構築プロジェクト全体における要件定義フェーズの位置づけと進め方を理解し、ドキュメントの作成とレビューポイントについて学びます。

開催日時	2026年11月16日(月) 9:00-16:00ライブ配信
JUAS研修分類	要件定義から運用(WF型要件定義・設計・開発・テスト)、新人・配転者向け(新人・配転者向け)
カテゴリー	IS戦略策定・IS戦略評価・IS企画・IS企画評価 専門スキル
講師	斉藤学 氏 （スカイライトコンサルティング株式会社　シニアマネジャー ） PMI日本支部理事（組織拡大担当）、PMP。 官公庁、大手民間企業を中心に社会変革に繋がる様々なプロジェクトの推進支援を担当。その傍ら非営利団体・大学等教育機関を対象としたプロジェクトマネジメント（PM）の啓発・実践活動を展開中。 新規事業開発、組織改革、システム化投資等、事業会社サイトにおけるアドバイザー業務も多数担当。
参加費	JUAS会員企業/ITC：35,200円 一般：45,100円（１名様あたり　消費税込み、テキスト込み）【受講権利枚数1枚】
会場	オンライン配信（指定会場はありません）
対象	システム開発における要件定義を担当するまたは今後担当するシステム部門担当者。要件定義について体系的に学びたい実務経験3年未満の担当者。 初級
開催形式	講義、グループ演習
定員	26名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）
ITCA認定時間	6

主な内容

■受講形態
ライブ配信（Zoomミーティング）【セミナーのオンライン受講について 】
■テキスト
開催７日前を目途にマイページ掲載
■開催日までの課題事項
特になし

スキルを習得するだけでなく、講座終了後に、実業務において「要件定義をまとめられるかも！」と思えるようになって頂くことを、本講座のゴールに設定しています。

■セミナーの狙い
・要件定義の位置づけを理解する
・要件定義の進め方（スキル＆レビューポイント）を理解する
・要件定義に必要な業務一覧、業務フロー、機能一覧、システム要件定義等の主要ツールの作成ポイントとレビューポイントを理解する

■プログラム
１．はじめに

２．要件定義とは？

３．工程別の進め方（スキル＆レビューポイント）
ステップ１　システム化方針の確認/実施計画策定
ステップ２　改善テーマの設定
ステップ３　現行業務/システム調査
ステップ４　新業務要件の確定
ステップ５　システム要件定義/後続作業計画

４．要件定義のポイント

＜受講者の声＞
・業務経験上それなりにわかっているつもりだったが、自分の知識にない作業や考え方を学ぶことができた。
・業務を通じて断片的に知りえた知見を再構築できた。
・基礎からわかりやすく教えていただいた。資料も見やすい。
・要件定義の流れと重要性が学べて、これから要件定義の仕事に関わる人への研修として適していた。
　グループ演習により他社参加者の考えも学べて勉強になった。
・実体験をもとに話してくれたので、説得力があり、要件定義の重要なポイントの理解が深まった。
　また、意見交換の場もあったので、自分以外の考え・見方を知ることができる良い機会となった。